【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2014-210799(P2014-210799A)
【公開日】平成26年11月13日(2014.11.13)
【年通号数】公開・登録公報2014-062
【出願番号】特願2014-139114(P2014-139114)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ　14/605　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ　14/605　ＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年11月28日(2014.11.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式R^1-Ｘ-Ｚ-R^2
{式中、
R^1が、Ｈ、C_{1-4}アルキル、アセチル、ホルミル、ベンゾイル又はトリフルオロアセチルであり；
R^2が、ＯＨ又はNH_2であり；
Ｘが、以下の式（Ｉ）：
Ｈｉｓ-Ｓｅｒ-Ｇｌｎ-Ｇｌｙ-Ｔｈｒ-Ｐｈｅ-Ｔｈｒ-Ｓｅｒ-Ａｓｐ-Ｔｙｒ-Ｓｅｒ-Ｌｙｓ-Ｔｙｒ-Ｌｅｕ-Ａｓｐ-Ｇｌｕ-Ａｒｇ-Ａｒｇ-Ａｌａ-Ｌｙｓ-Ａｓｐ-Ｐｈｅ-Ｉｌｅ-Ｇｌｕ-Ｔｒｐ-Ｌｅｕ-Ｌｅｕ-Ｓｅｒ-Ａｌａ（配列番号４）
を有するペプチドであるか；又は式（Ｉ）と異なる場合には、以下の：
２位の残基が：Ｄ-Ｓｅｒ、Ａｉｂから選択され；
１６位の残基が：Ｓｅｒであり；
２０位の残基が：Ｇｌｎであり；
２４位の残基が：Ｇｌｎ、Ａｒｇから選択され；及び
２８位の残基が：Ａｒｇであり；
のうちの最大４ヶ所によって式（Ｉ）と異なっているペプチドであり；そして
Ｚが、存在しないか、又は４、５、６又は７個の連続したリジン残基である。}を有する化合物、又は医薬的に許容し得るその塩。
【請求項２】
前記式（Ｉ）と異なる場合に、前記Ｘが、以下の：
２位の残基が：Ｄ-Ｓｅｒ、Ａｉｂから選択され；
１６位の残基が：Ｓｅｒであり；及び
２０位の残基が：Ｇｌｎであり；
のうちの最大３ヶ所によって式（Ｉ）と異なっている、請求項１に記載の化合物。
【請求項３】

前記の１６位と２０位、及び／又は２０位と２４位の残基が、塩橋を形成することができる、請求項１～２のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項４】
前記Ｘが、以下の残基のセット：
２０‐Ｌｙｓ、２４‐Ｇｌｕ；
２０‐Ｌｙｓ、２３‐Ｉｌｅ、２４‐Ｇｌｕ；
１６‐Ｇｌｕ、２０‐Ｌｙｓ、２４‐Ｇｌｕ；
１６‐Ｇｌｕ、２０‐Ｌｙｓ；
１６‐Ｇｌｕ、２０‐Ｌｙｓ、２９‐Ａｌａ；
１６‐Ｇｌｕ、２０‐Ｌｙｓ、２３‐Ｉｌｅ、２４‐Ｇｌｕ；
１６‐Ｇｌｕ、２０‐Ｌｙｓ、２３‐Ｉｌｅ、２４‐Ｇｌｕ、２９‐Ａｌａ；
１６‐Ｇｌｕ、２０‐Ｌｙｓ、２４‐Ｇｌｕ、２９‐Ａｌａ；
２０‐Ｌｙｓ、２３‐Ｉｌｅ、２４‐Ｇｌｕ、２９‐Ａｌａ；
２７‐Ｌｅｕ、２８‐Ｓｅｒ、２９‐Ａｌａ；
２９‐Ａｌａ；
１６‐Ｓｅｒ；
２０‐Ｇｌｎ；
２４‐Ｇｌｎ；
１６‐Ｓｅｒ、２０‐Ｇｌｎ；
２４‐Ａｒｇ；又は
２８‐Ａｒｇ、
のうちの１つ又は複数を含んでなる、請求項１～３のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項５】
前記Ｘが、以下の配列：
ＨＳＱＧＴＦＴＳＤＹＳＫＹＬＤＳＲＲＡＫＤＦＩＥＷＬＬＳＡ（配列番号１３）；
ＨＳＱＧＴＦＴＳＤＹＳＫＹＬＤＥＲＲＡＱＤＦＩＥＷＬＬＳＡ（配列番号５）；
ＨＳＱＧＴＦＴＳＤＹＳＫＹＬＤＥＲＲＡＫＤＦＩＱＷＬＬＳＡ（配列番号７）；
ＨＳＱＧＴＦＴＳＤＹＳＫＹＬＤＳＲＲＡＱＤＦＩＥＷＬＬＳＡ（配列番号８）；
ＨＳＱＧＴＦＴＳＤＹＳＫＹＬＤＥＲＲＡＫＤＦＩＲＷＬＬＳＡ（配列番号１１）；
ＨＳＱＧＴＦＴＳＤＹＳＫＹＬＤＥＲＲＡＫＤＦＩＥＷＬＬＲＡ（配列番号１２）；
ＨＳＱＧＴＦＴＳＤＹＳＫＹＬＤＥＲＲＡＫＤＦＩＥＷＬＬＳＡ（配列番号１７）、
を有する、請求項１に記載の化合物。
【請求項６】
前記R^1がＨである、請求項１～５のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項７】
前記R^2がNH_2である、請求項１～６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項８】
前記Ｚが存在しない、請求項１～７のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項９】
請求項１～８のいずれか１項に記載の化合物であって、かかる化合物内、例えばペプチドＸ内のアミノ酸側鎖のうちの１つ又は複数を、親油性置換基又は重合体部分に結合させる前記化合物。
【請求項１０】
請求項１～８のいずれか１項に記載の化合物をコードする核酸。
【請求項１１】
請求項１０に記載の核酸を含んでなる発現ベクター。
【請求項１２】
請求項１０に記載の核酸又は請求項１１に記載の発現ベクターを含んでいる宿主細胞。
【請求項１３】
請求項１～９のいずれか１項に記載の化合物、核酸、発現ベクター又は宿主細胞を、医

薬的に許容し得る担体との混合物の状態で含んでなる医薬組成物。
【請求項１４】
体重増加を予防するためか、体重減少を促進するためか、あるいは病的な肥満、肥満に関係する炎症、肥満に関係する胆嚢疾患及び肥満誘発性睡眠時無呼吸症を含めた過剰体重若しくは肥満により引き起こされた又はそれらに関連する身体状態の処置のためのか、あるいはインスリン抵抗性、耐糖能異常、２型糖尿病、高血圧症、アテローム形成性脂質異常症、アテローム性動脈硬化症、動脈硬化症、冠動脈性心疾患又は脳卒中の処置のための医薬品の調製における、請求項１～９のいずれか１項に記載の化合物、核酸、発現ベクター又は宿主細胞の使用。
【請求項１５】
体重増加を予防するか、体重減少を促進するか、あるいは病的な肥満、肥満に関係する炎症、肥満に関係する胆嚢疾患及び肥満誘発性睡眠時無呼吸症を含めた過剰体重若しくは肥満により引き起こされたか又はそれらに関連する身体状態の処置のためか、あるいはインスリン抵抗性、耐糖能異常、２型糖尿病、高血圧症、アテローム形成性脂質異常症、アテローム性動脈硬化症、動脈硬化症、冠動脈性心疾患又は脳卒中の処置のための方法における、請求項１～９のいずれか１項に記載の化合物を含む、医薬組成物。